

目的別分類 【個票番号】	実施項目	詳細項目			指標 区分 ※1	年度実施状況※2			進捗状況 (R4年度末)
						R2年度	R3年度	R4年度	
流下能力の向上対策 【治水－1】	流下能力の向上対策	河道掘削	高砂・尾上	0.0k～2.8k	A	○	○	○	43%
			古新	2.8k～3.8k	A	○			42%
			平荘（その1）	3.8k～6.2k	A		○		46%
			平荘（その2）	6.2k～9.8k	A		○		68%
			来住・大島	16.2k～18.6k	A				100% (H26年度完了)
			社・河合（その1）	26.6k～28.4k	A				43%
			社・河合（その2）	28.4k～30.7k	A				0%
			滝野・多井田（その1）	32.4k～33.8k	A	○			85%
			滝野・多井田（その2）	33.8k～35.0k	A			○	14%
			多井田	35.0k～36.4k	A				0%
			東条川	1.0k～2.0k	A	○			33%
		横断工作物の改良	古新堰堤・加古川堰堤	5.0k	A				0%
			河合頭首工【改築】	28.3k	A				0%
		橋梁の改良	栗田橋【改築】	23.1k	A				100% (H28年度完了)
			大門橋【架け替え】	27.9k	A				0%
			滝見橋【架け替え】	34.6k	A		○		100% (R3年度完了)
		堤防の整備	来住・大島	16.2k～18.6k	A				55%
			社・河合（その1）	25.7k～28.4k	A	○	○	○	35%
			社・河合（その2）	28.4k～30.6k	A				0%
			社・滝野	30.7k～32.5k	A				0%
			滝野・多井田（その1）	32.5k～33.8k	A	○		○	55%
			滝野・多井田（その2）	33.8k～35.0k	A			○	13%
			多井田	35.0k～36.4k	A				0%
			東条川	0.0k～2.0k	A				0%
河川管理施設の安全確保 【治水－2】	浸透対策	堤防浸透対策			A	○			87%
	耐震対策	堤防の耐震照査			A				（該当箇所なし）
		樋門・堰の耐震照査			A				100% (R元年度完了)
		堤防の耐震対策			B			○	（該当箇所なし）
		樋門・堰の耐震対策			B				1箇所
外水（洪水）以外の対策 【治水－3】	高潮対策	高潮対策			A				0%
	内水対策	関係機関との連携			C	○	○	○	H22, H26, H30, R元年度実施
		内水対策の実施 ※ハード対策			C				なし

【※1 指標区分の凡例】
(A) 目標量が定められており実施量に応じて進捗率として評価可能なもの
(B) 目標量が定められていないが実施量で評価可能なもの
(C) 定量的な評価が困難であり、実施の有無を評価するもの
【※2 年度実施状況の凡例】
○：当該年度において整備計画に対応したメニューを実施した項目。

目的別分類 【個票番号】	実施項目	詳細項目	指標 区分 ※1	年度実施状況※2			進捗状況 (R4年度末)
				R2年度	R3年度	R4年度	
適正な水利権 の許可 【利水－1】	適正な水利権 の許可	水利権許可件数(新規・変更)	B	○		○	34件
		許可水利権化の指導	C				H22, H28年度実施
流水の正常な 維持 【利水－2】	流水の正常な 機能の維持	正常流量の確保日数	B	○	○	○	4597日
		円滑な湧水調整					
		水位等リアルタイム情報提供の実施	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		関係機関との湧水調整	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		水資源に関する啓発、広報	C		○	○	H22～R元年度実施
生物の生息・ 生育・繁殖の 場の整備 【環境－1】	生物の生息・ 成育・繁殖の 場の整備	瀬再生	A				0%
		淵再生	A				0%
		わんど・たまり再生	A	○	○	○	74%
		礫河原検討	A			○	17%
		礫河原再生	A				8%
		水際植生保全	C	○	○	○	H27～R元年度実施
		干潟保全	C	○	○	○	H26～R元年度実施
魚類等の移動 の連続性 【環境－2】	魚類等の移動 の連続性	遡上状況の把握	B	○	○		12年
		魚道の改良検討	A				100% (H26年度完了)
		河川管理施設の改良	A				100% (H26年度完了)
		許可工作物の改良	A				33%
水環境の保全 【環境－3】	水環境の保全	公害防止計画作成の協力	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		自動監視の精度向上の検討	C				H26, H28年度実施
		水質モニタリング	C	○	○	○	H22～R元年度実施
	水質事故への 対応	水質緊急連絡通報	B	○	○	○	82回
		水質汚濁防止の啓発活動	C	○	○	○	H22～H26, H29～R4年度実施
	特徴的な河川 環境の保全・ 再生	地域の原風景(甌穴・閼龍灘)へ配慮した整備	C	○	○	○	H28～R元年度実施
		史跡の保存(舟運)を踏まえた整備	C				なし
河川管理施設 の点検および 機能維持 【管理－1】	堤防の点検お よび機能維持	日常点検	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		堤防補修	C	○	○		H22～R元年度実施
	堤防の除草	堤防除草	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		効率的な除草方法の検討	C	○		○	H27～R元年度実施
	河川管理施設 (樋門、堰 等)、許可工 作物(堰、橋 梁、樋門等) の点検および 機能維持	河川管理施設(樋門、堰等)の点検	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		河川管理施設(樋門、堰等)の補修	B	○		○	75箇所
		機能維持対策	C				H23, H28, H30年度実施
		許可工作物管理者への点検整備指導	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		構造令違反の改善指導	C	○			H22～R元年度実施

【※1 指標区分の凡例】
(A) 目標量が定められており実施量に応じて進捗率として評価可能なもの
(B) 目標量が定められていないが実施量で評価可能なもの
(C) 定量的な評価が困難であり、実施の有無を評価するもの
【※2 年度実施状況の凡例】
○：当該年度において整備計画に対応したメニューを実施した項目。

目的別分類 【個票番号】	実施項目	詳細項目	指標 区分 ※1	年度実施状況※2			進捗状況 (R4年度末)
				R2年度	R3年度	R4年度	
加古川大堰の 点検および機能維持 【管理－2】	加古川大堰の 点検および機能維持	大堰の点検	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		湛水区間の測量	C	○	○	○	H22～H29, R元年度実施
		機能維持にかかる修繕、作業	C				H22～H29年度実施
刈草および伐採木の有効利用 【管理－3】	堤防除草の刈草の有効利用	刈草の有効利用	C	○	○	○	H24, H27～H30年度実施
	伐採木の有効利用	伐採木の有効利用	C	○	○	○	H22～H26年度実施
河川区域の管理 【管理－4】	樹木の管理	洪水流下の支障となる樹木伐採	B	○	○	○	549000.8m2
		定期的な河川測量	C	○	○		H22、H25、H28～R元年度実施
	河川区域の管理	堆積土砂除去	B	○	○	○	217742m3
		砂利採取計画による土砂管理	C				なし
		維持管理上の塵芥調査・処理	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		流域と一体となった清掃活動	B		○	○	44回
		官民境界の確定	B	○	○	○	2674m
		不法行為防止の啓発活動	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		CCTVの設置	B				39箇所
安全な河川管理 【管理－5】	関係者と連携した危機管理対策	関係団体との連携	C	○	○	○	H22～H26, H28～R元年度実施
		地域との連携	C			○	H22～H24, H27～R元年度実施
	安全な河川管理	樋門操作員確保・操作講習会の実施	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		遠隔監視施設の新設	B		○		72箇所
	情報提供基盤の整備	光ファイバー整備	A				92%
		浸水予測、情報提供の検討	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		関係機関への情報提供	C				H28～R元年度実施
	関係者との防災対策	まるごとまちごとハザードマップ整備（箇所）支援	B				79箇所
		防災意識の啓発	C	○	○	○	H22, H24～H26, H29～R元年度実施
		関係機関との総合的な被害軽減対策	C	○	○	○	H23～R元年度実施
		水防訓練への協力	C			○	H22, H24～H29年度実施
	防災体制の整備	防災施設の機能維持	C	○	○		H23～H24, H29年度実施
		水防資材備蓄	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		他事務所との災害対策機器の連携	C				H22～R元年度実施
河川空間利用に関する整備 【管理－6】	河川空間の利用に関する整備	河川公園の占用許可	B	○		○	23件
		散策路整備	B				14380m
		水際緩傾斜化	B				0m
地域住民や地域で活動する方々との連携 【地域－1】	地域住民や地域で活動する方々との連携	地域の方々と一体となったモニタリング	C	○	○	○	H22～R元年度実施
		地域住民、地域の方々と三者一体の取り組み	C	○	○	○	H25～R元年度実施
		地域の自発的活動の支援	C				H24～R元年度実施
		人材育成	C				なし

【※1 指標区分の凡例】
(A) 目標量が定められており実施量に応じて進捗率として評価可能なもの
(B) 目標量が定められていないが実施量で評価可能なもの
(C) 定量的な評価が困難であり、実施の有無を評価するもの
【※2 年度実施状況の凡例】
○：当該年度において整備計画に対応したメニューを実施した項目。